

展示遺跡

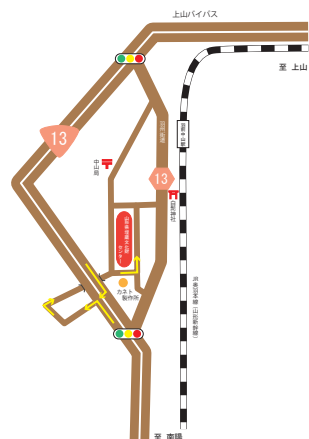
飛島



蕨山遺跡



酒田市



公益財団法人
山形県埋蔵文化財センター
〒999-3246
山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地
TEL:023-672-5301 FAX:023-672-5586
HP:<https://yamagatamaibun.or.jp>
E-mail:yac@yamagatamaibun.or.jp



令和 6 年度（公財）山形県埋蔵文化財センター市町村巡回展 酒田市文化資料館光丘文庫第 2 回企画展

発掘された

酒田市の遺跡

令和 6 年 7 月 27 日（土）～ 10 月 20 日（日） 酒田市文化資料館光丘文庫

ギャラリートーク：8 月 25 日（日） 14：00～14：40



酒田市の発掘調査

酒田市は山形県の北西部、庄内地域北部に位置する日本有数の米どころ、庄内平野が広がる都市です。北に鳥海山、南に出羽三山を望み、西は日本海が広がります。古代出羽国府が築かれたといわれ、近世には北前船で栄えました。市内には旧石器時代から近世まで 259 ヶ所の遺跡が確認されています。その内、山形県教育委員会と山形県埋蔵文化財センターによって 61 遺跡の発掘調査が行われています。

蕨山遺跡

農道整備事業に伴い発掘調査が行われました。調査により縄文時代中期前葉（約 4,500 年前）の集落が確認されました。出土した縄文土器は東北南部の型式だけでなく、東北北部の円筒系や北陸系の土器も確認され、当時の人々の東北北部や北陸地方との活発な交流がうかがえます。また 7 基の土坑からはアシカやトドなどの海獣の骨が多量に出土しており、かつて「とどしま」と呼ばれた飛島の起源が縄文時代にさかのぼることがうかがえます。



竪穴住居跡



土坑から出土した海獣の骨

おいし 生石 2 遺跡

国道 345 号線道路整備・県営ほ場整備事業に伴い 3 次にわたり 18,775 m²の調査が行われ、弥生時代と奈良・平安時代の遺構や遺物が検出されています。弥生土器は東北北部の系統、西日本の影響を受けた系統、2 系統の折衷系土器の三つの系統が混在し、東北地方に弥生文化が伝わる様子が示される貴重な資料が出土しました。



たわらだ
俵田遺跡

弥生土器出土状況



出土した弥生土器

1 次・2 次にわたる調査で、竪穴住居跡など 8 世紀末から 11 世紀の遺構や遺物が検出されました。最も注目されるのは祭祀遺構・遺物です。人面墨描土器や人形、馬形、刀形、斎串が祭場として配置されたままの姿で出土しました。時期は 9 世紀中頃のもので古代に行われた律令祭祀の様子が見えます。



人面墨描土器の出土状況



人面墨描土器

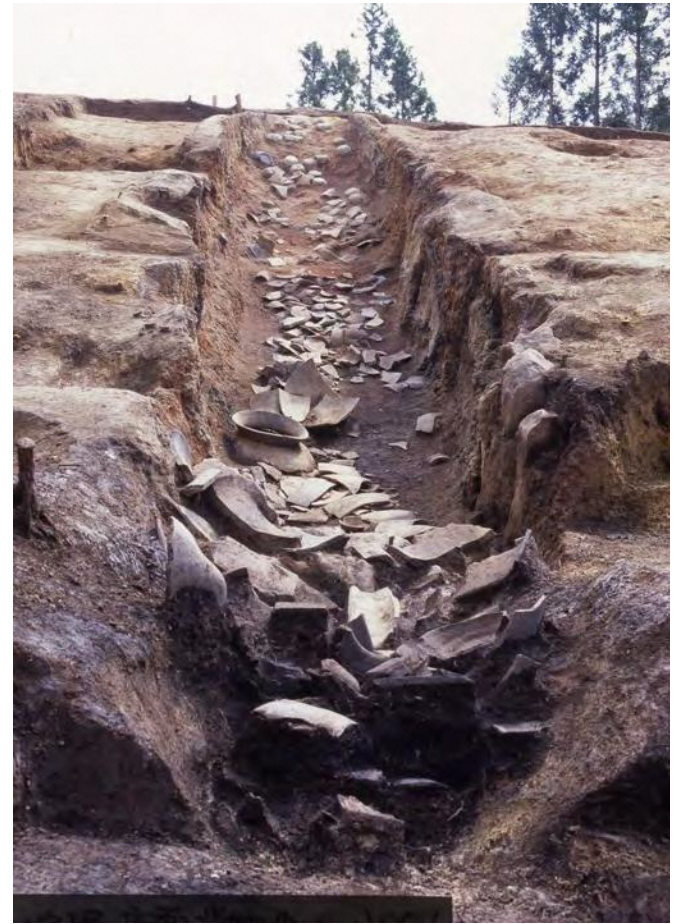
いずみもりかまあと 泉森窯跡

山の斜面を利用した 1 基の窯跡と 1 基の土坑、焼き損じた遺物の捨て場が確認され、土器や屋根瓦が多数出土しました。出土した瓦は古代の政庁跡と考えられている城輪柵跡で出土した瓦と同範のものです。



かめがさきじょうあと
亀ヶ崎城跡

出土した瓦



検出された窯跡

県立酒田東高等学校校舎改築事業に伴い発掘調査が行われました。亀ヶ崎城は東禅寺城と呼ばれ文明 10 年（1478）遊佐太郎繁元によって築城されたといわれています。これまで 5 次にわたる調査により、16 世紀を中心とした中世、庄内藩の支城として機能していた近世の遺構や遺物が確認されています。特に慶長 5 年銘の木簡など貴重な文字資料も多く出土しています。



本丸堀跡



出土した木簡